

大会規則及び選手注意事項

1. 本大会は、2023 年度（公財）日本陸上競技連盟規則ならびに本大会要項及び申し合わせ事項によって行う。
2. **競技場使用について**
 - (1) 練習場は指定された場所で行い、係員の指示にしたがって練習をすること。
 - (2) 本競技場は全天候舗装であるので、スパイクのピンの長さは、9mm以下とする。但し、走高跳は12mm以下とする。
 - (3) 医務員を本部席に置く。発病・負傷に対しては応急処置のみ行う。
3. **学校受付について**

出場学校（チーム）のみ、「リレーオーダー用紙」（予選）を2部、作成し**朝8時**までに提出すること。
4. **競技者の招集について**
 - (1) 招集所は、100mスタート地点の競技場外に設ける。
 - (2) 招集の手順は下記の通りとする。
 - ① 競技者は、招集所に待機し、招集完了時刻に最終の点呼を受ける。
 - ② 出場者以外の招集所への出入及び代理人による招集は認めない。
 - ③ 競技者は、競技者係にユニフォームのアスリートビブスを見せ、確認を受け、スパイク、リレーのユニフォーム、クツ底及びバッグなどの商標の確認を受けた後、係員の誘導で競技場に入る。
 - (3) 競技者の棄権については、大会の権威と運営を円滑に期するために極力避けること。やむを得ず棄権するときは、招集開始時刻までに競技者もしくは競技者の所属する学校の関係者がその旨を競技者係に申し出る。
 - (4) 2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、招集開始時刻までに「2種目同時出場届」を競技者係に提出すること。この場合、招集時刻が後の種目の招集は行ったものとみなし、選手は直接現地で最終確認を受けること。審判長がやむを得ないと判断した場合に限り、フィールド競技については試技順を変更して出場させることもある。
 - (5) 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該種目を棄権したものとみなして処理する。
 - (6) 四種競技の招集は、すべての種目を招集所で行う。ただし、2種目目以降で最終点呼時刻までに前の競技が終了しなかった場合は、前の競技終了後すぐ招集所に集合する。控室は設けない。

(4) リレーの招集

予選の招集は、エントランスホールにて行う。各チームの代表者は朝8:00までにオーダー用紙を2部提出し、掲示してあるエントリーリストに走順を記入する。選手は、招集完了時刻までに、それぞれが走る区間のスタート地点で最終点呼を受ける。

なお、**決勝の招集については、予選からの選手変更の有無に関わらず、招集開始時刻60分前までにオーダー用紙に記入の上、競技者係（招集所）に2部提出し、通常のトラック競技と同様に招集所において招集を受けること。**

 - (5) 2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、招集開始時刻までに「2種目同時出場届」を競技者係に提出すること。この場合、招集時刻が後の種目の招集は行ったものとみなし、選手は直接現地で最終確認を受けること。審判長がやむを得ないと判断した場合に限り、フィールド競技については試技順を変更して出場させることもある。
 - (6) 招集に遅れた競技者は、当該種目を棄権したものとみなして処理する。
 - (8) 四種競技の招集は、最初の種目のみ競技者係に点呼を受けるが、以後の種目については招集完了時刻までに現地に集合する。控室は設けない。
 - (9) 競技者の棄権については、大会の権威と運営を円滑に期するために極力避けること。やむを得ず棄権するときは、招集開始時刻までに競技者もしくは競技者の所属する学校の関係者がその旨を競技者係に申し出る。
5. **競技運営について**
 - (1) トラック競技のレーン順、フィールド競技の試技順は、主催者で抽選してあるのでプログラム記載通りとする。予選後は、主催者で抽選決定し、掲示により知らせる。決勝において同記録のためレーンが不足する場

- 合は、1/1000 で判定する。更に同記録の場合は抽選にて決定する。
- (2) レーンで行う競技種目で、棄権者があった場合は、そのレーンをあける。
- (3) 計時は写真判定（1/100 秒）とする。
- (4) 男女800mは1レーンに2人入ってスタートすることがある。レーン順はプログラムに記載する。
- (5) 共通男子3000mは安全上2段式スタートとすることがある。
- (6) セパレートレーンで行われる競技では、決勝線通過後自分のレーン（曲走路）を走り、他走者の妨害をしないこと。
- (7) 抗議申立書は陸上競技規則 TR8 によって総務に提出すること。抗議申立用紙は招集所に用意する。
- (9) アスリートビブス（24×16mm）は、必ずユニフォームの胸・背部に確実に取り付けること。ただし跳躍種目については 胸・背部のどちらかでよい。走幅跳は必ず前面に取り付けること。
- (10) ユニフォームの上衣の端は、ランニングパンツの内側に入れること。

6. 走高跳及び棒高跳のバーの上げ方について

種目	性	練習	競	技
走高跳	男	1m40	1m45-1m55-1m60-1m65-1m70	(以後 3cm ずつ)
走高跳	女	1m20	1m25-1m30-1m35-1m40-1m45	(以後 3cm ずつ)
四種 走高跳	男	1m25	1m30-1m35-1m40.....1m70	(以後 3cm ずつ)
四種 走高跳	女	1m05	1m10-1m15-1m20.....1m40-1m45	(以後 3cm ずつ)
棒高跳	男	任意の高さ	2m20-2m40-2m60-2m80-2m90	(以後 10cm ずつ)
棒高跳	女	任意の高さ	2m00-2m20-2m40-2m60-2m80-2m90	(以後 10cm ずつ)

- (1) 特殊条件によって変更する場合のバーの上げ方は、審判長が決める。
- (2) 棒高跳の支柱移動については、現地の担当審判員にその旨を申し出ること。

7. 用器具について

競技に使用する用器具は、すべて主催者が用意したものを使用する。ただし、棒高跳用ポールに限り、個人所有のものを使用することができる。個人所有のポールは現地で審判員から検査を受け、合格したものに限る。

8. 表彰について

各種目とも8位（リレー3位まで（各校5枚））までに賞状を贈る。

9. 災害時（悪天候）に関する確認について

- (1) 悪天候の場合は、競技の中断やタイムレース決勝等の措置をとるなどして、競技日程を変更して行う場合がある。
- (2) 大会本部で競技ができないと判断した場合には、大会を中止にすることがある。（原則として期日の延期はしない）また、大会負担金はいかなる場合も返金しない。

【 開門・閉門時間、練習会場および練習時間 】

		7月7日(金)		7月8日(土)	
競技場		本競技場	補助競技場	本競技場	補助競技場
開門		12:00		6:30	6:30
閉門		17:00		18:30	17:30
トラック		12:00~17:00		7:00~8:30	7:00~18:00
走幅跳	○	道具の準備、片付けは各校 をお願いします。 円盤投練習は監督管理のもと 前日準備完了後17時まで 会場内の使用状況等をみて 許可します。		○	○
走高跳	○			○	×
棒高跳	○			○	×
砲丸投	○			○(引率の付き添いが必要)	×
円盤投	△			×動作確認等でサークル内使用可	×
備考		1・2レーン 中長距離 3~7レーン 短距離・リレー ※リレーは第4コーナー使用不可 8レーン 女子ハードル 9レーン 男子ハードル		1・2レーン 中長距離 3~7レーン 短距離・リレー ※リレーは第4コーナー使用不可 8レーン 女子ハードル 9レーン 男子ハードル	